



令和3年6月議会 一般質問

市長は施政方針で、人口減少対策については、移住・定住のさらなる推進と地域経済の維持・活性化を地域の特色を生かした地域づくりの推進と述べられている。これについて詳しい内容を質問しました。

問1
地方移住に関心を
持つ企業への情報
発信や環境整備の
取組についての具
体的な内容は

定住サイトほっこり雲南をはじめ、インスタグラムやフェイスブック等を強化して、本市の魅力の発信に努めている。オンラインを活用した移住相談、体験プログラムの提供を実施している。民間の移住スカウトサイトを活用して、市内企業の求人情報を掲載、求人と移住希望者のマッチングを実施し、都市圏企業に対して、関係部局と連携して誘致に取り組んでいる。

問2
市内事業者がコロ
ナ禍の中、今後取り
組むデジタル化推
進による売上拡大
や生産性向上に対
する支援とは何か

今議会では、中小企業者デジタル化推進支援事業を創設して、市内事業者の売上拡大、生産性向上を促し、企業の競争力向上を支援したいと考えている。具体的には、ホームページや販売サイト構築、通信販売やその予約の業務管理システムとい

ったツールの導入を補助する。また、セミナーや専門家派遣も行っていききたいと考えてる。

問3
通信回線の高速化
早期実現に向けて、
地元企業にも発注
して予定よりも早
く整備する事は出
来ないか

通信回線の高速化整備は、吉田と掛合は今年度中に宅内まで引き込む、他地域の宅内引き込み工事は、来年度以降なるべく早く設置努力をする。地元企業の協力を得ながら、出来るだけ早い時期に繋げるように今後よく検討して進めていきたい。

問4
雲南市にある企業
を市が活用して、事
業拡大も含め支援
すれば、企業と雇用
の確保も出来ると思
うがどうか

雲南市と関わりも深いので、いろいろなどところで関わりを持つことが必要であると思う。今後、そのような業務等があれば付き合っていくつもりでいきたいと考えている。

問5
大都市圏の企業に、
テレワークによる
市内移住を促進、企
業の誘致に向けた
取り組みとは何か

事務系企業の職場は、若い世代から人気が高く企業誘致に力を入れている。企業チャレンジとして多くの企業の協力も得ながら、空き家バンク、空き店舗、遊休施設などの情報収集を進めて誘致につなげていきたいと考えている。

問6
協働のまちづくり
は、自主組織との自
助・共助・公助の部
分が重要ですが、公
助の立場として、市
役所の具体的な取
組の内容は何か

地域自主組織との協働のまちづくりは、色々な分野で多岐に亘り関係している。セーフティネットとしての公助の力があつての、自助・共助であると考えている。セーフティネットとしての公助は、市民の皆様への安全・安心の確保、具体的には災害への備え・有事への対応力の確保等、多岐に亘っている。幅広く市民の皆様との対話を通じ、見出し・取組んでいきたいと考えている。

問7
地域自主組織には
若い力が不足して
いる。活動できる若
い人を確保するた
めには何が必要か

地域、組織の活動を1人の人が全て出来るわけではない。自分の仕事をしながら活動に参画してもらい、その参加回数を増やし、更に、その人数を増やしていくという形が理想と思う。その様な支援をしたい。

問8
地域自主組織への
会計システム導入
計画があるが、なぜ
導入するのか

平成29年度から導入を推進している。従来は独自の会計システムで処理していたが、地域自主組織の会計規模が初期段階に比べて増大したため、事務負担軽減の観点から取組んでいる。意向のある地域から随時導入しており、現在、20組織で利用している。今後も導入を推進していきたいと考えている。

問9
教育振興会費が学
校の部活動・修繕費
に使われていると
の話があるが、どう
考えているのか

各種負担金の請求団体・組織は、地域コミュニティの一翼として活動している団体・組織であり、それぞれ団体・組織の責任においてそのとりまとめを自治会に依頼しているものと考えており、強制ではないと認識している。各団体・組織から説明された活動・趣旨を確認していただき、各自治会で民意性を尊重し、対応を議論すべきと考えている。教育振興会費として、行政負担の付け替え実態が有るのであれば調査し、見直すべきものは見直していく必要がある。



WEBから
皆様のご意見、
お聞かせください!

<https://kajitani.site>

梶谷よしひら 後援会事務所 〒699-1113 雲南市加茂町東谷 1313
発行責任者 梶谷佳平 電話・FAX 0854-49-6399



6月議会 所感

早いもので、私が雲南市議会議員をさせていただいてから3回目の定例議会を終えることができました。今回の一般質問でも私が選挙で掲げていました「笑顔あふれる明るい雲南市を作りたい!」という初心を忘れず、この想いを込めて一般質問を行いました。

梶谷佳年

6月議会報告の前に、皆様に3項目ほどご報告があります

1 新型コロナワクチン接種について

新型コロナワクチン接種について、64才以下の受付は早ければ6月中に接種券を配布して予約をスタートし、8月から順次接種の予定でありましたが、接種券は7月14日配布予定となりました。接種のご予約は、電話よりインターネットを利用した方が早く予約をすることができます。

予約方法は、雲南市ホームページをご覧ください。
<https://www.city.unnan.shimane.jp>

「新型コロナウイルスワクチン接種 web 予約」をクリックして、予約ページに進みます。予約時には、接種券をお手元に準備しておいて下さい。

2 一般質問のインターネット配信について

これまでの議会の一般質問の様子は、夢ネットの生中継と当日の夕方からの録画放送でしか視聴することが出来ませんでした。7月初旬より雲南市議会アーカイブとしてインターネットで動画配信され、いつでもご覧いただけるようになりました。



是非ご覧ください!

議会動画は、梶谷よしひら公式サイトでも
ご覧いただけます!
<https://kajitani.site/>



3 3月議会からの継続案件について

①教育支援コーディネーターについて

教育委員会は、教育支援コーディネーター制度を廃止し、地域コーディネーターを配置する案件を提案されましたが、教育民生常任委員会で「教育支援コーディネーター」は重要であり、継続するように強く要望した結果、継続審議となり、令和3年度は新たに教育支援コーディネーターを募集。海潮・加茂・三刀屋・掛合は採用ができました。大東・木次・吉田は新たな応募がなく地域コーディネーターの配置となりました。令和3年度は、今後のコーディネーターのあり方を審議・決定する場を設けることになりました。

②食の幸プロジェクトについて

食の幸発信推進事業は、大学教授など5名の専門家を招致し助言会議で、方向性を検討されることになりました。検討状況については、ホームページ等で開示される予定になっています。

③ギガスクール構想について

今議会で、Windows 関連機材の導入が決まりました。今後は、先行してWindowsを運用している吉田中学校の視察を実施、更にchromeやiPadを奥出雲町や飯南町は導入しているので、そちらの視察も計画しています。子供たちが機材を有効に活用するために、今後も教育民生常任委員会として動向を注視して行きたいと思います。

④サッカー場整備について

石飛市長としては、「松江FC関連でサッカー場を整備・建設するのではなく、地域の文化・スポーツを振興する上で大東町のサッカー場をどうしたら良いのかを検討する。」と見解を示されています。

梶谷よしひらは、困りごと相談、困りごとの解決や手伝いを致します。いつでもお気軽に声をお掛け下さい。